

!スズメバチ



Point
年間20人前後の死者。
絶対に近づかない。

【特徴】

スズメバチは、1回刺されただけでも急性アレルギー反応によるショック死を引き起こすことがあり、非常に危険な生き物。

【刺されないために】

- ◇白っぽい服装。香水・ヘアスプレーを控える
- ◇ハチが飛んできた場合は、騒いだり手で払ったりせず、頭を低くして離れる
- ◇巣には絶対に近づかない

【刺された際の対処】

- ◇すぐに毒液をしぼり出すか吸い出し、刺された部分を水で洗った後、氷などで冷やす
- ◇身体に異常（はれる、じんましん、めまいなど）を感じた時は、医療機関を受診する
- ◇呼吸が苦しかったり、意識がなかったりした時は、一刻を争うので救急車を呼ぶ

【駆除への補助金】

桂川町では、スズメバチの駆除にかかる費用の一部を補助しています（上限1万円/1件）。

CAUTION!



これからの季節、

身近な危険生物が活発化します

夏から秋にかけて、身近な危険生物たちの行動が活発化します。

これらの生物は人間に害を与え、場合によっては命を落とすこ

ともあります。その特徴と対処法を押さえておきましょう。

【問合せ先】保険環境課 生活環境係 ☎65・1097

!セアカゴケグモ



Point
見かけたら捕まえず、
すぐに連絡を。

【特徴】

体長約1cm。地面や人工物のあらゆるくぼみや穴、すき間などに巣を作ります。咬まれるとかゆみや痛み、重症化すると頭痛や筋肉痛、進行性の筋肉麻痺が生じ、死に至ることも。

【咬まれないために】

- ◇セアカゴケグモが生息していそうな屋外で作業をする際は、軍手など手袋を着用する
- ◇見つけても、素手で捕まえたり触ったりせず、保険環境課に連絡する
- ◇家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を使用する、熱湯をかける、靴で踏みつぶすなどが有効

【咬まれた際の対処】

速やかに医療機関を受診する。受診の際は、クモの種類がわかるように、できれば殺したクモを持参する。

!チャドクガ(幼虫)



Point
触らない。
刺されてもかかない。

【特徴】

サザンカやツバキの葉を好む黒とだいたい色の縞模様しまに全身を毛で覆われた毛虫で、6～7月、9～10月頃の年に2回発生します。毛に触れると赤く腫れ上がり、強いかゆみに襲われる。

【刺されないために】

- ◇山林はもちろん庭の樹木などにも注意する
- ◇特に子どもが虫取りなどで草むらに入るときは注意する

【刺された際の対処】

- ◇刺された部分をかくと毒針毛が広がるので、絶対にかいたり、こすったりしない
- ◇セロテープなどで毒針毛を取り除く
- ◇石けんをつけて勢よく洗い流す
- ◇症状がひどい場合は医療機関を受診する